

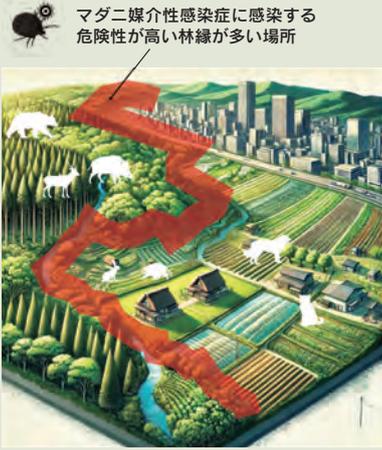
森林総合研究所プレスリリース

●マダニ媒介感染症に感染しやすい環境を解明―野生動物と人間の活動域が交わる境界で注意が必要―

近年、重症熱性血小板減少症候群(SFTS)というマダニ媒介感染症に感染する事例が増加しています。SFTSに限らずマダニ媒介感染症ではワクチン等による予防体制が整っていないため、感染を避けることが重要です。感染を避けるにはSFTSに感染しやすい環境条件を明らかにする必要がありますが、そのような環境条件は未解明でした。

そこで、森林総合研究所と医療法人徳州会札幌東徳州会病院の研究グループは、SFTSの患者の発生地点とその周辺の環境条件を調べ、統計モデルによる解析を行うことで、SFTSの患者が、人間と野生動物の接点となる林縁に多く、気候が温暖な場所でも多く発生していることを明らかにしました。

本研究成果は、どんな環境条件下でSFTSの感染が発生しやすいかを示すことで、感染リスクを正しく恐れ



マダニ媒介感染症に感染する危険性が高い林縁が多い場所

本研究で示されたSFTSに感染しやすい環境のイメージ(赤の太い線)

ながら野外活動を行うことを可能にし、地域の感染リスクを緩和させるための土地利用や生態系管理の検討に役立つ知見を提供するものです。本研究成果は、2025年1月26日にHOO-Infoでオンライン公開されました。

森林総合研究所ニュース

国立研究開発法人 森林研究・整備機構(森林機構) 浅野透理事長は、子育て支援に加えて不妊治療と仕事の両立に積極的に取り組む企業として、厚生労働省の「くるみんプラス」に認定されました。森林機構は2015年に子育て支援への取り組みが評価され、「くるみん」に認定されましたが、その後も不妊治療のための休暇制度導入や職員研修などを推進。今回「くるみんプラス」の認定基準を満たすことができました。

認定通知書の交付式は3月7日、茨城労働局(水戸市)で行われ、森林機構の宇野聡夫理事(企画・総務・森林保険担当)が茨城労働局の沢口浩司局長から通知書を受け取りました。宇野理事は「不妊治療と仕事の両立にかかるセミナーの開催や制度の改正に取り組んできたことがプラス認定につながった。今後も次世代育成支援対策をより一層積極的に進めていきたい」と挨拶しました。

森林機構は森林総合研究所をはじめ、林業用樹木の品種改良など

に取り組む林木育種センター(茨城県日立市)、水源涵養機能の高い森林の造成に取り組む森林整備センター(神奈川県川崎市)、林業経営の安定を支援する森林保険センター(同市)で構成されます。



「くるみんプラス」認定通知書を茨城労働局長(右)から受け取る森林機構の宇野理事



「くるみんプラス」認定マーク

森林総合研究所研究成果

●ツイッター上の「森林」、規模の大きい話題と関連したつぶやき多め

「森林」という言葉はSNSではどのように使われているのでしょうか。2021年5月のツイッター(現X)の投稿(つぶやき)のうち、「森林」を含む1万2856件と「公園」を含む3万5881件の投稿を分析し、それぞれの言葉の使われ方を調べたところ、「公園」を含む投稿の多くは、子どもの遊び場や散歩コースなど日常生活に関連したイメージと結びついていましたが、「森林」を含む投稿は、環境保護や森林伐採

など規模の大きい社会的なトピックに関連したイメージと結びついていくことが明らかになりました。

また、「森林浴」は「行く」「癒やす」「公園」などの日常生活と関連した行為や場所と結びついており、「写真撮影」や「花の観賞」は、「森林」「公園」の両方に共通して重要なトピックとなっていました。これらことから、より多くの人に「森林」を身近に感じてもらうためには、日常生活に結びついた森林での体験の機会を増やすことが有効といえます。

本研究は、森林総合研究所報告において2025年3月に公開されました。

夏休み一般公開のお知らせ

小中学校の夏休みに合わせて、森林総合研究所(茨城県つくば市)は「夏休み一般公開(仮)」を開催する予定です。森の生きものたちを顕微鏡で観察する企画などを検討しています。詳細が決まりましたら公式サイトで案内します。

次号は120周年特集

森林総合研究所は今年、起源となる農商務省山林局林業試験所が1905(明治38)年11月1日に発足してから120周年を迎えます。9月発行の70号では、その歴史の中で取り組まれている主な長期的研究について意義や成果をご紹介します。巻頭対談では、自然保護活動にも取り組んでいる著名人と浅野透所長が語り合つて予定です。お楽しみに。



P.3, 8



P.8



P.3, 8, 14



P.18



P.3, 8, 14, 16, 18, 20



持続可能な開発目標(SDGs)

森林総合研究所は、森林・林業・木材産業等の幅広い研究を通して、国連の持続可能な開発目標(SDGs)の達成に積極的に貢献しています。該当する目標と記事のページ数は、左記の通りです。

プレスリリース等の最新情報はこちらから→

<https://www.ffpri.affrc.go.jp/index-r.html>

お問い合わせ

森林総合研究所
企画部 広報普及科 広報係
TEL 029-829-8372
Email kouho@ffpri.affrc.go.jp

